

教えに出会い、 節を乗り越える

ペットブームと言われて久しく、可愛いワンちゃん(犬)を連れて散歩している姿を、お寺の前でもよく見掛けます。私も大好きですから、「アア〜よしよし、いい子だねえ〜」名前はなんて言うの?」なんて言いながら近づいて行つては、私が犬に癒されています。その散歩している方々を見て気が付いたことがあります。それは、犬を連れて歩いていく人が、圧倒的に女性が多いという事です。割合的には、10人のうち男性は1人くらいしかいない。あれじゃ女性と犬は長生きするけど、男性は先にいつちやいますね(苦笑)。

さて、いま百歳以上の人が、全国に大体2万6千5百人くらいおられるそうです、その85%が女性なのだそうですよ。それは何故かというところ、細かな家事を全部やっていいるから頭も使えば体も使う。ところが男性の方はテレビを観てゴロゴロしているだけでしょ。あれじゃね(笑)。

これは男性と女性の気質の違いなのか? いや、そうは言っても男性の

中には、女性よりも元気な男性もおられます。

私達は普段、より元気に幸せな人生を長生きしたいと願うのは、しごく当たり前の事ですよ。では、元気で長生きする秘訣の様なものが何か無いのか? もしあれば、すぐにでも実践したいとも思います。

先日ある本を読んでもりましたら面白い文章がありました。それは料理研究家・田村魚菜さんのお母様の言葉なのですが、こういう事です:「1日遊びたければ美容院に行け。1ヶ月楽しみたければ結婚したらいい。1年楽しみたければ家を建てたらいい。1生楽しまたければ誠実に生きなさい」というのです。つまり「人のために何ができるか」という事なのではないでしょうか。

人から何かをしてもらう事は幸せな事だけれど、人に何かをしてあげる事は、もっと大きな幸せが得られる事を、私達は知らなければいけないのです。人に喜ばれる喜び、そして感謝される幸せを知っている人が本当の幸せ者かも知れませんか。

中国の古典『中庸』では「天命之性」とあります。性は天が命じたもの、定めたものというのである。植物性という性がある。動物性という

性がある。人間性という性がある。男性、女性という性もある。これらは天命じたもの、定めたものであつて、何者もこれをどうすることもできません。更に人には個性という性もある。個性もまたその人だけに天が命じたものですが、個性という性がその真性を発揮するには、2つの条件が必要なのではないでしょうか。

1つはこういう「教え」に出合つかによつて、個性は様々に磨き出されていき、その個性のあり方を決定していく。もう1つはどういう「節」に出合いか、それをどう乗り越えるのか。あるいは乗り越えないか。それらが個性を発揮できるかできないかの分岐点になるものと思います。

誰の人生にも節が訪れます。それは小さいものから、大きなものまで、人は皆その人生行路で様々な節に出合います。それらの節を1つ1つ乗り越えることで、人は更にたくましさを加え人間味を増して成長していきます。

人生とは1日1日が、いわば死への旅路であると言えましよう。生あるものがいつかは死に至るとするのが自然の理法である限り、ものみな全て、この旅路に変更はありません。ただ人間だけは、これが自然の理法であることを知つてこの旅路に対処する事ができ

る。いつ死に至るか分からないにしても、生命のある間に、これだけの事をやっておきたい等と、色々に思い巡らす。これは別に老人に限ったことではなく、青春に胸膨らます若人が、夢や目標を語り、色々と計画するのも、これまた死への準備に他なりません。

生と死とは表裏一体だから、生への準備はすなわち死への準備ということになりましよう。死を恐れるのは人間の本能です。それは、私達はいつも死に直面しているからなのです。それだけに生きることが尊くなるのです。だからこそ与えられている生命を最大限に生かさなければならぬ。それを考えるのがすなわち死の準備という事であります。そしてそれが生の心構えとなります。『人のために何ができるか?』人に喜ばれる喜び、そして感謝される幸せを感じ、元気に幸せな人生を可愛いベツトと長生きしたいものです。

合掌 副住職 谷川 寛敬

